

第3回 プレゼン大会 結果報告

10月22日(土)に経済学部主催「第3回プレゼン大会」を開催しました。以前の「プレゼン・ディベート大会」からの通算で13回目となる本大会には、総勢6チームが参加しました。

当日は、本年度のテーマである「考えてみませんか? 札幌の防災・減災のこと」に沿って、各チームによって、厳冬期の地震対策や災害発生時の地下鉄活用など、多くの独創的な提案がなされました。また、それぞれの発表に対して、参加学生から多くの質問が投げかけられ、約3時間にわたって緊張感を維持した学びに富む大会が開催されました。参加学生にとっては、準備に時間をかけたプレゼンのしがいのある大会になったものと思われれます。札幌での防災・減災対策について、自らのプレゼン作成および他のチームの発表から、参加学生たちは理解を深めていったものと思います。本大会を通じて学んだ内容をそれぞれ実践に移してほしいと思います。



参加チームからは「他チームの発表を聞いてより良いアイデアや技術を学ぶことができた」や「議論が活発で予想以上にもりあがっていたと思う」という意見や、今後に向けて「ゼミ対抗のような大会にしたらおもしろい」という感想などが寄せられました。



各チームの発表が、甲乙つけがたい完成度であったため、審査も慎重を期すものとなりました。最終的には以下の3チームが表彰対象となりました。



優勝「安部ゼミ A」 準優勝「高井ボーイズ」(高井ゼミ) 第3位「安部ゼミ B」

優勝チーム「安部ゼミ A」は地震の際には地下の被害のほうが小さいという事実をもとに、緊急時の物資輸送対策として、地下鉄を利用する可能性について検討していました。地下鉄の駅には商業施設、バスターミナルがあり、市がこれらの施設と提携することで、積み下ろしのスペースとして利用可能であることが提案されました。既に同様の試みを始めている事例を参照しながら、手堅いアイデアを示した点が評価されました。準優勝チーム「高井



ボーイズ」(高井ゼミ)は、震災関連死を減らす取り組みとして、暖色系のパネルの利用と気泡緩衝材を利用し、避難所の寒さを解消するというアイデアを提案しました。寒さが体に与える影響について、実証実験を行っていた点も含め、高い評価を受けました。3位チーム「安部ゼミ B」は、地震の際に発生が懸念される火災旋風について、事前対策と発生時の対策について実例を提示している点が評価されました。

大会終了後の意見交換も含めて、盛況のうちに大会を終えることができました。参加した学生の皆さん、来場者の皆様に御礼申し上げます。
(教務委員)